

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

「学ぶよろこびを実感できるまちをめざして」（岩手県滝沢市）

取組事業

放課後子ども教室推進事業

活動実施場所

滝沢ふるさと交流館（滝沢小学校区）
多目的研修センター（篠木小学校区）

取組概要

【放課後子ども教室推進事業】

- ・放課後子ども教室「たきざわっ子いきいきクラブ」は、体育協会の指導により、各種スポーツ活動、体力づくりを積極的に取り入れている。
- ・放課後子ども教室「チャグホ塾」は、活動の中にミュージカルを取り入れ、誰でも気軽に演劇に触れる機会を盛り込むなど、芸術文化活動を中心とした体験プログラムを充実させている。

①放課後子ども教室「たきざわっ子いきいきクラブ」（対象：篠木小1～6年生児童）

■活動内容 宿題、読書、卓球、サッカー、バドミントン、ユニホック、流しそうめん会等

②放課後子ども教室「チャグホ塾」（対象：滝沢小1～6年生児童）

■活動内容 ミュージカル、宮沢賢治童話、茶道、華道、わら細工、将棋、料理、合唱等



事業成果

【放課後子ども教室推進事業】

地域の人材が活動支援を行っており、それぞれの持つ技術や知識などのノウハウを使いながら効果的に活動し、様々な体験活動の充実を図ることが出来ている。

「たきざわっ子」では、子どもたちの体力向上の一助や子ども同士の交流の場となっており、望ましい人間関係づくりにつながる活動となっている。

「チャグホ塾」では、芸術文化に触れたり、伝統文化に関わったりする活動を行うことで、表現力の育成や情操教育の一助となっている。また、両子ども教室共に指導者には高齢者も含まれていることから、単に子ども達の体験活動の支援だけではなく、世代間交流としてのコミュニケーションの場となっており、体験活動の推進と世代間交流との相乗効果が図られている。

課題や今後の取組

（課題）

活動場所は公共施設のため、活動部屋の確保や活動後の子どもの待機場所確保などが課題としてあげられる。

また、地域ボランティアの継続的な人員確保が課題である。

（今後の取組）

公共施設の利用方針が大きく見直されていることから、市と運営組織との情報交換を定期的に行う必要がある。